



学びを糧に、新たなステージへ！

◆ 長野吉田高校の卒業式

ご卒業おめでとうございます。本校の3月は、卒業式をはじめとして慌ただしく過ぎていきます。いわゆる進学校と呼ばれる学校では全国どこでも同じ情景です。受験シーズンは終盤ですが、未だ道半ばの人がほとんどです。最後の最後まで粘り抜き、自分自身の最高学力で有終の美を飾ることを期待します。それでも今日は、晴れの卒業式です。なかでも高等学校の卒業は、人生の大きな区切りのひとつです。あいにく新型コロナウイルスの感染拡大防止のために昨年同様式典の縮小をお願いしましたが、皆さんの門出を在校生、教職員、関係者一同は心から祝福しています。

◆ 高校3年間で誇りにし、若き主権者として歩んでほしい

高校3年間、教科学習、クラス・生徒会・諸行事の特別活動、打ち込んだ課外活動など、じつに様々な取り組みが皆さんの心と身体を育みました。かけがえのない友人も得ました。皆さんは入学時から「新入試学年」という代名詞がつきまとい、文科省による数々の政策の変更・中止に翻弄された学年でした。しかし、その都度柔軟に乗り越え、受験勉強は多くの知識と思考力を知性に変え、計画性・対応力・実践力に磨きをかけました。これら全てが大きな財産です。さらに皆さんの活躍や残した有形無形のカタチは、あらたに本校の伝統へと加わります。誰もがその成長を誇り、今後の糧としてほしいと願います。

また、この一年は皆さんが主権者として歩みはじめた年でもありました。選挙制度は平等の象徴であり、民主主義の根幹です。国民投票は日本国に、住民投票は地方自治に対して直接、意志表示する場です。来たる4月には卒業生全員が日本の主権者に加わります。責任ある主権者として大切なことは、自分事として真剣に考えること、結果を見届けること、理想を見失わずに次へ生かすことです。氾濫する情報を峻別し、考え抜き、あなたの哲学に基づいた“あなたの答え”を示し続けてほしいと願います。長野県、日本、そして世界の進路も作っていきましょう。

◆ 贈と謝辞

右に載せた詩は、アメリカの社会派コメディアンである故ジョージ・カーリン氏によるもので、今回卒業生への贈（はなむけ）として贈ります。今年は東日本大震災から10年の節目を迎えます。また昨年10月の台風19号の記憶も新しく、今なお続く新型コロナウイルスの世界的な流行は、生活スタイルや価値観を一変させています。これまで気付きもしなかった日常風景の尊さを再認識した一方、地域や世界の復興と存続へと再び取り組むこととなります。今後、本校での様々な学びが礎となり、未来の実現へと昇華することを願います。様々な矛盾も抱えている社会ですが、どうか、自分と自分の周囲にいる人たちを大切に、前向きに人生を歩んでください。皆さんの活躍を教職員一同心から祈っています。この進路室だよりも卒業号となりました。これまでお読みいただきありがとうございました。

The paradox of our time in history is that...

**we have taller buildings but shorter tempers,
wider Freeways , but narrower viewpoints.**

**We spend more, but have less,
we buy more, but enjoy less.**

**We have bigger houses and smaller families,
more conveniences, but less time.**

**We have more degrees but less sense,
more knowledge, but less judgment,
more experts, yet more problems,
more medicine, but less wellness.**

**We drink too much, smoke too much,
spend too recklessly, laugh too little,
drive too fast, get too angry,
stay up too late, get up too tired,
read too little, watch TV too much ,
and pray too seldom.**

**We've learned how to make a living, but not a life.
We've added years to life not life to years.
We've been all the way to the moon and back,
but have trouble crossing the street to meet a new neighbor.
We conquered outer space but not inner space.
We've done larger things, but not better things.**

**We've cleaned up the air, but polluted the soul.
We've conquered the atom, but not our prejudice.
We write more, but learn less.
We plan more, but accomplish less.
We've learned to rush, but not to wait.
We build more computers to hold more information,
to produce more copies than ever,
but we communicate less and less.**

**Remember; spend some time with your loved ones,
because they are not going to be around forever.**

(Go on to the back→)

**Remember,
say a kind word to someone who looks up to you in awe,
because that little person soon will grow up and leave your side.**

**Remember,
to say, "I love you" to your partner and your loved ones,
but most of all mean it.
A kiss and an embrace will mend hurt
when it comes from deep inside of you.**

**Remember to hold hands and cherish the moment
for someday that person will not be there again.**

**Give time to love, give time to speak!
And give time to share the precious thoughts in your mind.**

**AND ALWAYS REMEMBER:
Life is not measured by the number of breaths we take,
but by the moments that take our breath away.**

この時代に生きる私達の矛盾

ビルは高くなったが 人の気は短くなり
高速道路は広くなったが 視野は狭くなり
お金はたくさん使っているが 得るものは少なくなり
たくさん物を買っているが 楽しみは少なくなっている
より便利になったが 時間は前よりもない
たくさんの学位を持っても センスはない
知識は増えたが 決断することは少ない
専門家は増えたが 問題は増えている
薬も増えたが 健康状態は悪くなっている

飲み過ぎ 吸いすぎ
消費し 笑うことは少なく
猛スピードで運転し すぐ怒り
夜更かしをしすぎて 起きたときには疲れすぎている
読むことは稀で テレビは長く見るが
祈ることはとても稀である

生計のたてかたは学んだが 人生を学んでいない
長生きするようになったが 長らく今を生きていない
月まで行けるようになったが
近隣同士の争いは絶えない
外世界を制服したけれど 内世界は違う
大きなことは成し得たが より良いことは成し得ていない

空気を綺麗にしてきたけれど 魂を汚し
原子核を分裂させられるが 偏見は取り除くことが出来ない
たくさん書いているが 学びはせず
計画は増えたが 成し遂げられていない
急ぐことは学んだが 待つことを覚えず
情報を手に入れるために多くのコンピューターをつくり
これまでにないほどコピーを生産したが
コミュニケーションはどんどん減っている

忘れないで欲しい 愛するものと過ごす時間を
それは永遠に続かないのだ

忘れないで欲しい すぐ側にいる人を抱きしめることを
あなたが与えることが出来る唯一の宝物には 1円もかからない

忘れないで欲しい あなたのパートナーや愛するものに
心をこめて「愛している」ということを
あなたの心からのキスと抱擁は傷を癒やしてくれるだろう。

忘れないで欲しい もう逢えないかもしれない人の手を握り
その時間を慈しむことを

愛し 話し あなたの心の中にあるかけがえのない思いを
分かち合おう

そして忘れないで欲しい
人生はどれだけ呼吸をし続けるかで決まるわけじゃない
どれだけ心のふるえる瞬間があるかだ